

施工箇所が 点在する工事

施工箇所ごとに単価地区を変える

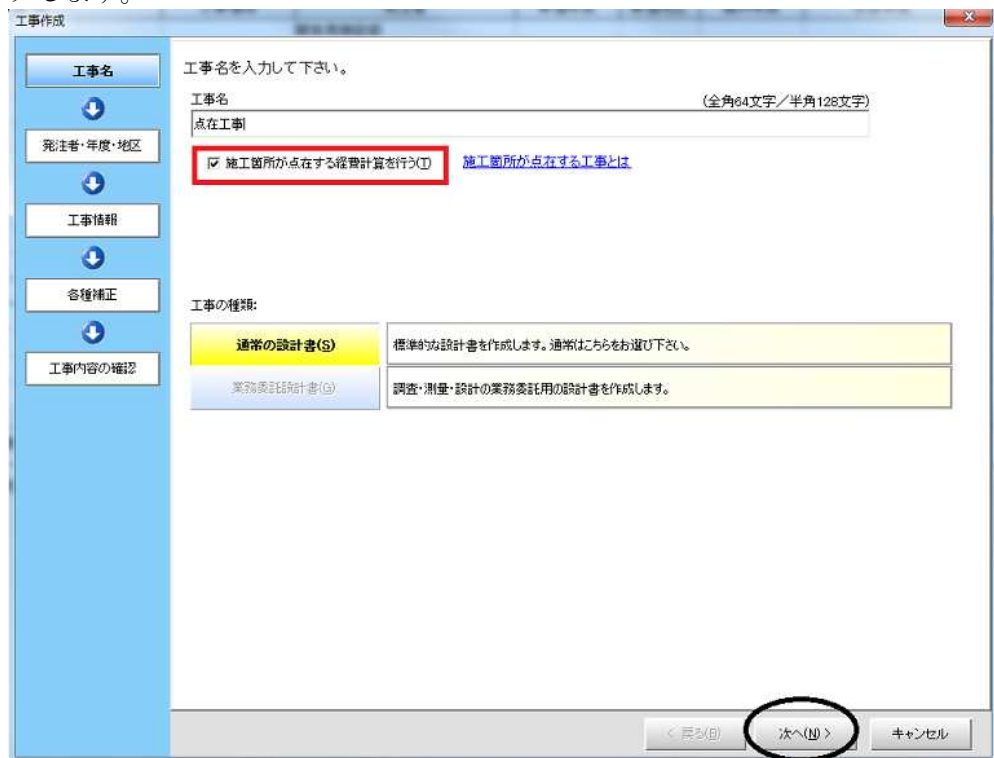
施工箇所が点在する工事で、施工箇所ごとに単価地区が違う場合の工事作成方法です。積算前に設定が必要となります。

1. 総括表を設定する

①「工事名表」画面でツールバーの「工事作成」をクリックし総括表を開きます。設計書取り込みの場合は取込が終わった後に自動で総括表が開きます。



②工事名を入力後、「施工箇所が点在する経費計算を行う」のチェックを付け、「次へ」をクリックします。



- ③発注者・年度・地区を設定します。
 単価地区は、施工箇所 1 工区目の単価地区を選択します。

工事作成

工事名

発注者・年度・地区

工事情報

各種補正

工事内容の確認

発注者・歩掛区分・入札年月日・地区を選択して下さい。

発注者
 中部地方整備局(三重県)

歩掛区分:
 一般土木

入札年月日
 2017年3月3日

単価地区:
 404津市

発注者・歩掛区分・入札年月日・地区を指定することにより、
 最適な単価データや、経費データなどが自動的に選択されます。
 不明な場合は、「手動で年度・地区を選択する」ボタンから、
 設計書にあった年度・地区を選択することができます。

手動で年度・地区を選択する(M)

設定情報を確認する

積算で使用する単価を指定する(C)

使用する年度・地区の確認:

順位	使用する単価	単価年度	地区
1	整備局単価	30中部地方整備局(三重県) - 平成29年3月	404津市
2	市販単価	24三重県(市場単価) - 平成29年冬号(1月)	整津(中部二誌平均)
3	市販単価	24三重県 - 平成29年3月	整津(中部二誌平均)
4	地域単価	劣路単価 - 平成29年3月	24三重県
5	地域単価	積算基準等掲載単価 - 平成28年度	24三重県
6	地域単価	24三重県 - 平成29年3月	津
7	参考単価	Being参考単価 - 平成28年度4月	24三重県

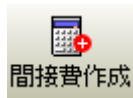
歩掛区分/年度: 一般土木 - 平成28年度
 経費区分/年度: 一般土木(国交省) - 平成28年度
 積算年度/地区: 平成28年度 - 豪雪補正0W(国土交通省)

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

発注者・年度・地区の設定が完了したら、工事情報、各種補正についても設定し
 工事内容の確認の画面で、画面右下の「保存して閉じる」のボタンをクリックします。

2. 1工区目を作成する

1箇所目の直接工事費を積み上げ、ツールバーの



から間接費作成を行います。

※設計書取り込みの場合



をして下さい。

費目/工種/種別/細別/規格	単位	数量	単価	金額
A地区				1,508,871
河川土工	式	1		1,261
掘削工	式	1		1,261
掘削	式	1		
土層:土砂	m3	7	188.8	
床堀	m3	10	274.5	
盛土工	式	1		1,251
埋戻し(転圧有)	m3	3	1,825	
埋戻し(転圧無)	m3	4	192.8	
	式	1	1,248,803	1,248,803

間接費作成（間接費設定）の詳しい手順は下記の手順書を参照下さい。

<設計書を取り込む方法> P1~P4

<http://www.beingcorp.co.jp/supportcenter/manual/gaia/itiren/kansetuhikeihi.pdf>

<最初から工事を作成する方法> P1~P2 手順3まで

<http://www.beingcorp.co.jp/supportcenter/manual/gaia/itiren/keihi.pdf>

3. 単価地区の切り替え

1工区目の積算完了後、2工区目の施工箇所の単価地区に切り替えます。



①「本工事費内訳書」画面で「上へ」をクリックし「工事名表」の画面に戻ります。工事名の上で右クリック、メニューの総括表を選択します。

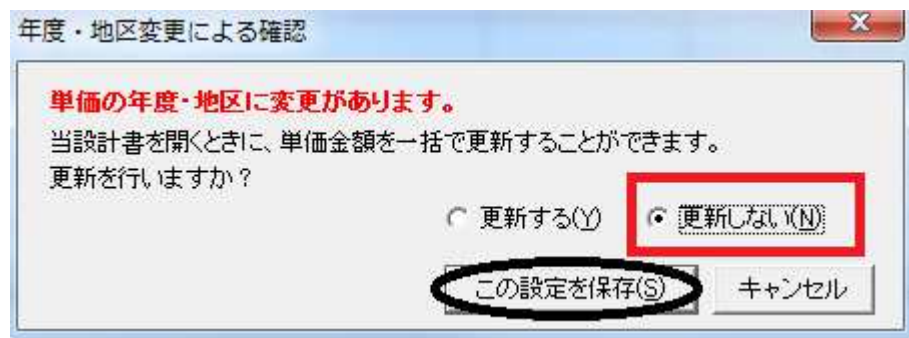
名称	工事価格	発注者	単価年度	単価地区	損料年度
点在工事		中部地方整備局(三重県)	平成29年1月	403鈴鹿市	平成28年度

② [発注者・年度・地区] をクリックします。単価地区を 2 工区目の施工箇所の地区に切り替えます。

順位	使用する単価	単価年度	地区
1	整備局単価	30中部地方整備局(三重県) - 平成29年1月	403鈴鹿市
2	市販単価	24三重県(市場単価) - 平成29年冬号(1月)	鈴鹿(中部二誌平均)
3	市販単価	24三重県 - 平成29年1月	鈴鹿(中部二誌平均)
4	地域単価	労務単価 - 平成28年2月	24三重県
5	地域単価	積算基準等掲載単価 - 平成28年度	24三重県
6	地域単価	24三重県 - 平成28年11月	鈴鹿
7	参考単価	Being参考単価 - 平成28年度4月	24三重県

④ [保存して閉じる] をクリックします。

- ⑤「単価の年度・地区に変更があります。」という確認画面が出ます。
 [更新しない] にチェックを付け [この設定を保存] をクリックします。



4. 2工区目以降を作成する

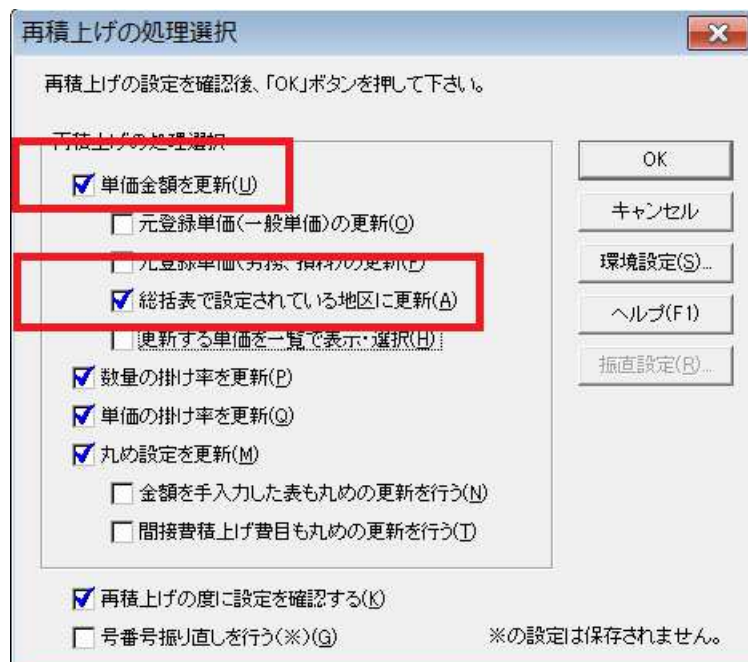
1 工区目の間接費の下に、2工区目の直接工事費の積上げと、間接工事費の作成（取込の場合は間接費の設定）を行います。

2 工区目以降の積算で、再積上げを行う場合 [単価金額を更新] の**チェックを外して下さい**。



（再積上げは、ツールバーの **再積上** から設定を行います。）

※「単価金額を更新 (U)」及び「総括表で設定されている地区に更新」にチェックを付けると総括表で設定している単価地区に単価が更新されますのでご注意ください。




3 工区目以降も単価地区が異なる施工箇所がある場合は 3.単価地区の切り替えの手順を行ってください。

5. 経費計算を行う

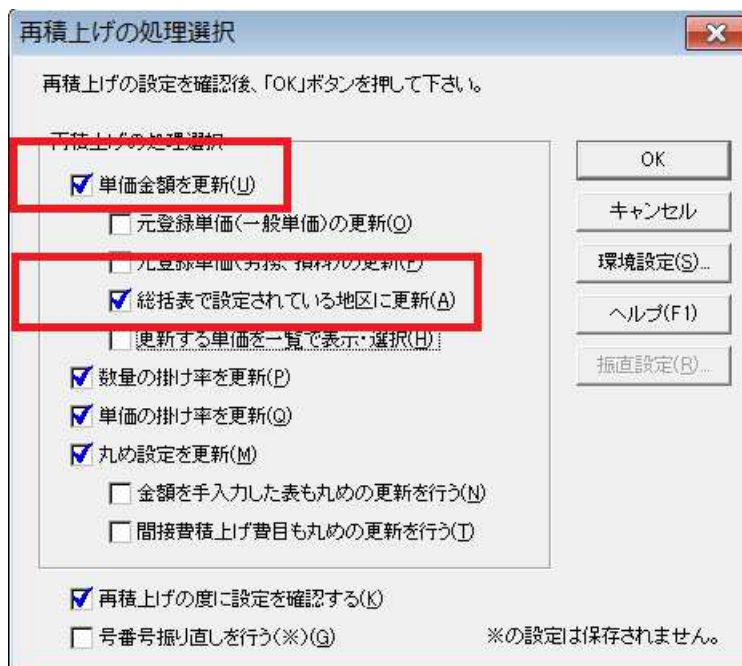
ツールバーの  をクリックします。



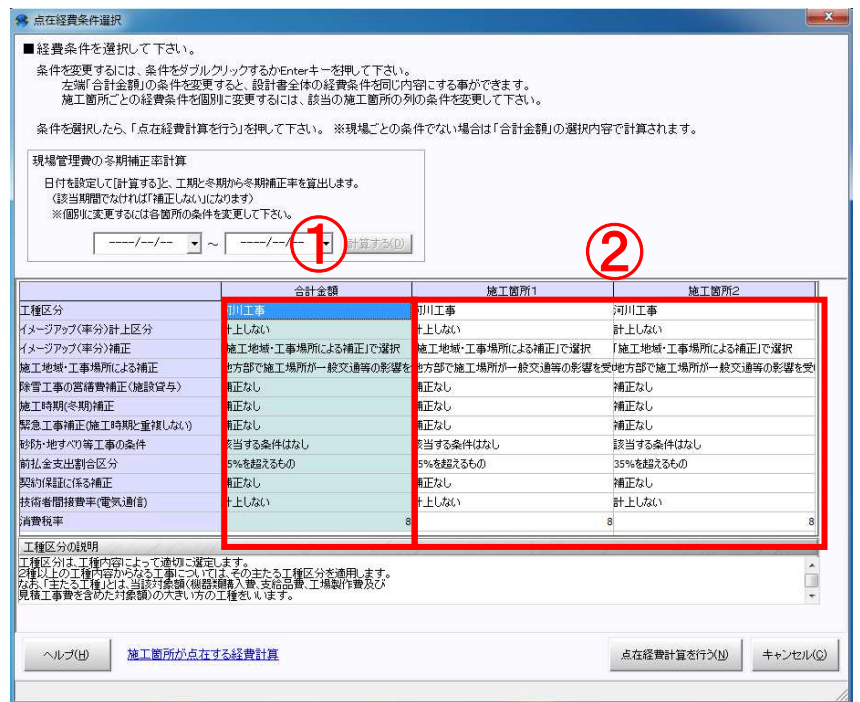
②再積上げの処理選択の画面が表示されます。
再積上げの処理選択で、「単価金額を更新」の **チェックを外し**、[OK] をクリックします。

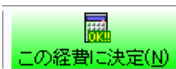
(再積上げは、ツールバーの  から設定を行います。)

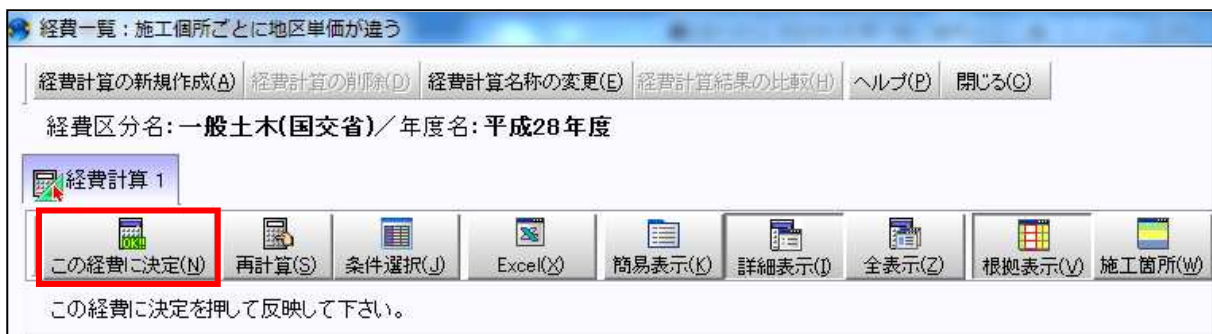
※「単価金額を更新 (U)」及び「総括表で設定されている地区に更新」にチェックを付けると総括表で設定している単価地区に単価が更新されますのでご注意ください。



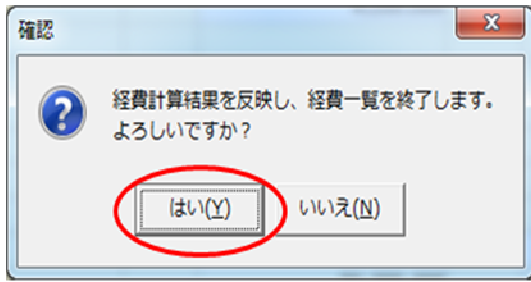
①の「合計金額」の条件を変更すると、各設計書の条件②も連動します。
各設計書ごとに、個別に設定することもできますが、その場合も、①の「合計金額」の条件も
選択を行って下さい。



「経費一覧」画面が表示されます。経費内容を確認し、 をクリックします。



「確認」画面が表示されますので、[はい] を選択します。



経費が反映され、「本工事費内訳書」画面が表示されます。
金額が反映されているかご確認ください。